

【基調報告】

高齢者虐待対応に向けての市区町村における体制づくり

報告 1

松戸市高齢者虐待防止ネットワーク事業

松戸市介護支援課介護予防推進担当室 保健師長 井上 スエ子

報告 2

北九州市における高齢者虐待防止システム

北九州市保健福祉局高齢者福祉課 在宅福祉係長 大庭 千賀子

「高齢者虐待対応に向けての市区町村における体制づくり」

## ～松戸市高齢者虐待防止 ネットワーク事業～

松戸市介護支援課介護予防推進担当室  
保健師長 井上 スエ子

1

## 松戸市の概要

<地域特性>  
松戸市は、千葉県東葛地域(北西部)に位置しており、江戸川を挟み東京都葛飾区と隣接し、都心から20km圏にある東西11.0km、南北11.5kmのほぼひし形の市域面積61.33km<sup>2</sup>を有する人口約47万人の都市

<松戸市のデータ > -2006. 4. 1現在-

人口	468, 380人	介護認定者	10, 514人
65歳以上	77, 639人	2号被保険者	618人(再掲)
高齢化率	16. 6%	サービス利用者	8, 822人

<内訳>

在宅サービス	7, 369人	施設サービス	1, 453人
--------	---------	--------	---------

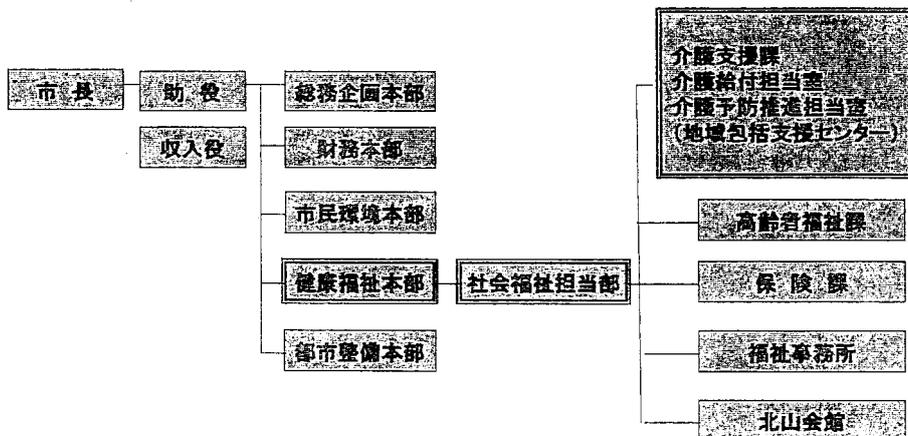
2

## 介護保険サービス事業者

- 居宅介護支援事業者 88
- 訪問介護事業者 92
- 訪問入浴介護 5
- デイケア 12
- デイサービス 55
- 訪問リハビリ 177\*
- 短期入所生活介護 12
- 短期入所療養介護 8
- 福祉用具貸与 29
- 訪問看護 215\*
- グループホーム 22
- 特定施設入所者生活介護 12
- 介護老人福祉施設 (746床) 10
- 介護老人保健施設 (196床) 3
- 介護療養型医療施設 (214床) 5
- 訪問看護、訪問リハはみなし指定  
- 2006.3. 31現在-

3

## 松戸市の組織と介護予防推進担当室



4

**松戸市介護予防推進担当室  
(地域包括支援センター)マンパワーと業務**

地域包括支援センター設置数:市直営で1ヶ所

(職員配置)

保健師8人 看護師4人 社会福祉士2人 事務4人

臨時看護師3人 臨時事務3人

(業務内容)

- 1 高齢者の保健・福祉・医療の総合相談
- 2 11ヶ所の地域型在宅介護支援センターの統括・支援
- 3 居宅介護支援事業者・居宅介護サービス事業者の指導・支援
- 4 高齢者支援連絡会(地域ケア会議)の開催支援
- 5 高齢者虐待防止ネットワーク事業
- 6 介護予防ケアマネジメント

5

**地域型在宅介護支援センターの  
マンパワーと業務**

設置数:市内11ヶ所(医療法人・社会福祉法人に委託)

(職員配置)

保健師、看護師、社会福祉士、ケアマネジャーの有資格者で実務経験2年以上のもの1名以上を専任

(主な事業内容)

- 1 高齢者の保健・医療・福祉の総合相談  
(高齢者虐待の第1次相談窓口)
- 2 特定高齢者の介護予防ケアマネジメント
- 3 介護予防事業(訪問型介護予防事業)
- 4 高齢者支援連絡会(地区ケア会議)事務局など

6

## 高齢者虐待防止ネットワーク事業 実施までの経緯

- 1 平成14年度からケアマネジャーの抱える支援困難事例への支援
- 2 高齢者虐待支援は、地域をはじめとする関係機関の相互の情報交換や連携が不可欠
- 3 平成16年3月「高齢者虐待防止ネットワーク準備会」設置

7

## 高齢者虐待防止ネットワーク準備会

(平成16年3月設置)

### 高齢者虐待防止ネットワーク準備会の開催(3回)

- 1 地域の実情の把握
- 2 事務局の決定
- 3 ネットワーク骨格部分の検討  
(虐待の定義・目的・構成メンバー・活動内容)
- 4 要綱の作成 など

8

## 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク

(平成16年7月20日設置)

### (目的)

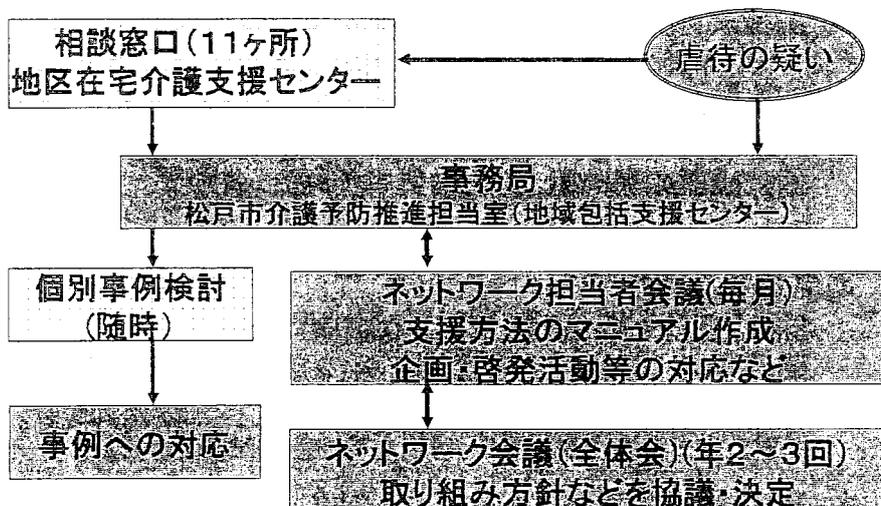
高齢者虐待の予防・早期発見・早期対応・再発防止を図り、高齢者の平穏な生活を確保することを目的に、関係機関および団体の役割を明確にすると共に連携を強化する。

### (構成員)

法務局・弁護士・保健所・警察・医療機関・民生委員・特別養護老人ホーム・学識経験者・ケアマネジャー・介護保険サービス事業者・市職員などの30の機関・団体の代表者で構成

9

## 高齢者虐待防止ネットワークフロー図



10

## 高齢者虐待防止ネットワーク事業内容(16年度)

### 1.啓発活動(高齢者虐待とは何か、相談窓口の明確化)

広報まつどへの掲載、記者発表、講演会(参加者303人)  
リーフレット・ポスター作成配布、掲示

### 2.研修会

ケアマネジャー、サービス事業者、保健所、保健福祉センター、  
医療機関の専門職を対象(参加者 116人)

### 3.相談 67件

### 4.事例検討会

相談を受けた中で問題が複雑な事例について随時、ネット  
ワーク担当者会議開催(4回 5事例検討)

### 5. 高齢者虐待実態調査(居宅介護支援事業者、サービス事業者等対象)

対象数326機関 回収率49.1% 虐待把握数174事例(延数)

11

## 高齢者虐待防止ネットワーク事業内容(17年度)

### 1.啓発活動(高齢者虐待の予防活動を推進)

広報まつどへの掲載、シンポジウム(参加者613人)、  
リーフレット・ポスター作成配布・掲示

### 2.研修会

ケアマネジャー、サービス事業者、保健所、保健福祉センター、  
医療機関の専門職、民生委員等を対象(参加者 170人)

### 3.相談 43件

### 4.事例検討会

相談を受けた中で問題が複雑な事例について  
随時ネットワーク担当者会議開催(9回開催10事例検討)

### 5. 高齢者虐待実態調査(居宅介護支援事業者、サービス事業者等対象)

対象数326機関 回収率45.1% 虐待把握数162事例(延数)

### 6. 高齢者虐待防止対応マニュアル作成

12

## 17年度介護予防推進担当室における 高齢者虐待相談実績と支援

(1) 相談の種類別相談件数(重複回答) (%)

相談件数	身体的	心理的	経済的	放置・放任	性的
43 (実)	34 (79.1)	29 (67.4)	16 (37.2)	5 (11.6)	1 (2.3)

(2) 相談者(43人の内訳) (%)

ケアマネジャー	被虐待者	市関係課	近隣知人	家族	民生委員	病院・MSW
11 (25.6)	11 (25.6)	6 (14.0)	5 (11.6)	4 (9.3)	3 (7.0)	3 (7.0)

13

### (3) 高齢者本人の虐待発生要因

(重複回答)

	件数 (%)
• これまでの人間関係	14(32.6)
• 経済的困窮・経済的トラブル	14(32.6)
• 認知症による言動の混乱	6(14.0)
• 性格や人格	5(11.6)
• その他身体的自立度の低さ	5(11.6)
• 外部サービスへの抵抗	1(2.3)

14

## (4) 虐待者の虐待発生要因

(重複回答)

	件数 (%)
• 性格や人格	19(44.2)
• 病気・障害	11(25.6)
• 介護疲れ	7(16.3)
• 家族の無関心・無理解・非協力	7(16.3)
• 知識や情報不足	5(11.6)
• 外部サービス利用への抵抗	2( 4.7)
• 世間体に関するストレス	1( 2.3)

15

## (5) 相談時の緊急性の判断

	件数 (%)
• 生命に関わる危険な状態	8(18.6)
• 心身の健康に悪影響がある状態	20(46.5)
• 本人の希望や意思が無視・軽視 される状況	12(27.9)
• わからない	3( 7.0)

16

(6) 相談対応の結果(平成18年3月現在)

(%)

サービス調整等で継続支援 (ケアマネ支援)	終了 助言 改善 転居等	入院・ 施設入所等で 分離
26 (60.5)	10 (23.2)	7 (16.3)

17

ネットワークの成果

1. 相談窓口の明確化とPRにより相談件数が増加した

平成14年度	7件
平成15年度	20件
平成16年度	67件
平成17年度	43件

2. 関係機関との連携強化により、迅速な対応が可能になった

3. 多角的に検討されることにより、新たな気づきが